

このような場所が母にもあるよ。という話を娘と出来たことは良かった。
大した場所ではなくとも、大切な人との思い出の場所は、同じ景色で
なくても色あせないんだな。と大人も再認識させてもらえた。

変わっていく風景の中にも家族のきずなやつながりは変わらないということを父は伝えたかったのかなと
感じました。僕も大人になり、家族とともに時には父と同じような想いが受け継がれ
つなげていくんだと思うました。

時代とともに いろんな変化があるけれど、家族で同じ物を見て、すごせることが
幸せだと思う。

お父さんが大事に想っているふるさとや祖父との思い出の大切な場所だという
ことが、僕にも伝わり、「今日はいつもと違って見えた」んだと思います。

こんな周に加西のことを大好きで、いられるように、日々楽しく大切に過ごせたらなあと思
います。
将来子供が加西を離れることになったら

見える景色が変わってしまっても、ふるさとを大切に思う気持ちや家族の思い出を
受け継いでいく事が大事だなと思いました。子どもの感想を読んで、この話を
理解していることに少し驚きました。この加西の今の景色や思い出も忘れず伝えて
いってほしいなと思います。

まずは京都の伝統行事である大文字の送り火について調べました。それを
知ったうえで話し合いました。自分の生まれ育った町の伝統行事を大切にし、
引き継ぎ、それをまた次の世代に伝えていくことの大切さを感じました。

また、その伝統行事を家族と一緒に...ということに改めてかきも感じました。